

国際交流基金事業助成報告書

薬学部 3年次生 松浦桃子

オーストラリア語学研修

日程：2023年3月6日(月)～3月16日(木)

都市：Kingscliff, NSW

研修校：North Coast TAFE Kingscliff Campus

1. はじめに

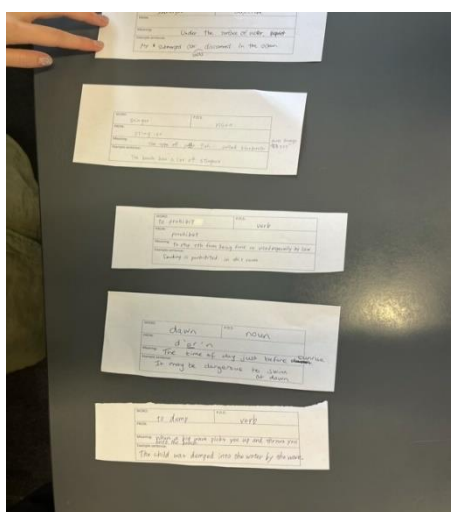
この度、国際交流基金の助成を受け、オーストラリアの薬学並びに文化について学び、ホームステイで現地の方と交流、体験したことについて報告します。

2. 授業

・ English class

基本的な文法に加え、ホストファミリーとの会話で使える話題や日常会話で使える英語、どちらかという実践向けの授業が多かったです。ホームワークでオーストラリアのアボリジニ文化についてホストファミリーに聞いて来てくださいというのがあり、拙い英語で会話をするのが難しかった私にとって一緒にホームワークをする時間はホストファミリーと楽しい会話ができる大切な時間でした。また、ホームステイで新しく得た単語や授業中に初めて知った単語について皆で共有し、ミニゲームなどで楽しく覚えることが出来ました。各家庭における食や家族構成、日々の過ごし方なども知ることが出来て、日本との文化の違いについて学びが深まりました。

Beach safety など観光では学ぶことの出来ない現地の方が海に行く上で守らなければならない危険標識についても学ぶことが出来て面白かったです。



授業中で学んだ新しい単語の

活用方法を含めみんなで覚えていくゲームに使われたもの

・ Pharmacy class

現地の実際の医薬品を試飲してみたり、講義にて日本とオーストラリアの薬局形態の違い、日本のように一般用医薬品、医療用医薬品と医薬品が二分するのではなくもっと細かく分類があること、保険様式の違いなど細かい部分まで学んだりすることができました。また、English class とは違い内容のレベルが上がるので、単語の難易度や話すペースなどが全く異なり、実際海外で進学するとこのような英語のレベルになるのかと留学のリアルを痛感しました。



Gliffith University のパソコン室の一角
薬がたくさん置いてありました



Gliffith University でいただいたお土産たち

・ Aboriginal Cultural Awareness Excursion to Fingal

この授業では実際に森の中に行き、アボリジニの文化についてより体感的に学びました。現地の人々の説明を聞きながら、森の中を歩きながら自然の中を生きる先住民について学びました。現地の人々が裸足で森の中を歩いていたのは衝撃でした。皆で Fingal の beach に行ったのもとても楽しかったです。

3. ホームステイ

私はイタリア人の家庭にホームステイさせていただきました。ホームステイ経験が初めての私は最初とても緊張していましたが、2人の優しさでイタリア人ならではの陽気な歓迎のおかげで滞在期間の8日間、1度もホームシックになることなく楽しく過ごすことが出来ました。ホストファミリーお気に入りの家の近くの Cabarita Beach。わん

ちゃん2匹と一緒に散歩がてら行くにはもったいないほど綺麗で広い beach でした。マーケットや2人のオススメ Byron Bay、ここに行きたい！と下調べをあまりしていなかった私のために、どうやったら短い滞在期間の中で楽しめるかを沢山考えてくださって感謝しかありません。毎日の食事とても美味しくとても幸せな出会いと日々を過ごさせていただきました。日本、オーストラリア、イタリアそれぞれの文化の違いについて沢山お話が出来た時間がこの研修期間の中で1番楽しい時間でした。



Cabarita Beach で

ホームステイ先のわんちゃんたちとお散歩



Byron Bay

4. 最後に

私は海外に行くのは2回目で、ホームステイは初めてということで最初はとても緊張していました。温かいファミリーに迎えてもらい、また、楽しい授業を通して日本の文化しか知らず、日本でしか生活したことの無い私にとって、大きく視野が広がった感覚が残っています。英語の技能を向上させるには私の基盤が足りていなかった部分が大きく、なかなか成果という成果はみられませんでした。とにかく間違ってもいい、言葉にしよう、話そうという姿勢については身についたかと思います。今回の研修を機に海外に対する興味関心が深まりました。参加できて本当に良かったと思います。